

議 事 録

会議名 令和4年度 第2回国見町総合計画審議会
日 時 令和4年8月23日（火） 10:00～11:05
出席者 19名（欠席者2名）

1. 開 会（司会：企画調整課長）

2. 町長あいさつ

※町長より岩崎会長に諮問書を手交

3. 審 議

① パブリックコメント等の実施結果について

【質問・意見】なし

② 国見町過疎地域持続的発展計画（案）について

【質問・意見】

- ・**委員**：15頁に「古民家等再生補助事業（新）」と「空き家バンク事業」の二つの事業が掲載されているが、例えば、県外から国見町に移住してきた人が、古民家（空き家）を購入し、そこに住むとなれば、その二つの事業の対象となるという理解でよいか。
⇒「空き家バンク事業」は空き家の登録をし、移住定住者へ情報提供を行う事業であり、「古民家等再生事業（新）」は、実際にリノベーション等をする場合の補助となっている。新規事業の詳細については、今後検討していきたい。
- ・**委員**：53頁に「くにみ学園整備事業」があるが、既存施設の利活用する考えはあるのか。
⇒くにみ学園基本構想策定委員会を9月よりスタートしていく。ワークショップ等で地域の皆さんの意見もいただきながら、建設場所についても検討していく。既存施設を利用するかどうかの議論も当然出てくると思われるが、10～20年後を見据え、何が子どもたちにとってベストなのか、それを軸に検討を進めていきたい。
- ・**委員**：25頁に「ブランド開発・販路拡大支援事業（新）」があり、その事業内容に「おすそわけ」という言葉が使われているが、「おすそわけ」は本来「つまらないものを分け与える」という意味があり、目上の方に使う言葉としては失礼にあたることもある。そうであれば、例えば「お福分け」とかであれば問題ないと思うので、新規事業であれば、文言についても検討いただきたい。
⇒その認識は持ち合わせているが、道の駅をオープンする時から「おすそわけ」という言葉をこれまでずっと使ってきたので、これからも「おすそわけ」で進めていきたい。

- ・**委員**：観月台体育館が地震被害で使用できない件について、是非とも同じ場所に修理もしくは建替えをお願いしたい。東日本大震災の際は、この体育館が避難所として活用された実績がある。藤田地区としては、この体育館を残してほしい。

⇒タウンミーティング等で様々な立場の方の意見をいただきながら検討していきたい。

⇒現在、藤田地区の避難所としては小学校の体育館となっている。

⇒ただ、避難するだけだったらどこでもよいが、調理室がないと炊き出しができない。

⇒すべての要望を叶えることは難しく、炊き出しについては、給食センターや文化センター、小学校の調理室で行うものと考えている。
- ・**委員**：25 頁に「地域経済活性化事業（新）」とあるが、事業の詳細について教えてほしい。

⇒本事業は新規事業であり、現時点でお示しできるものはない。事業の詳細は今後検討していきたい。
- ・**委員**：12 頁に「地域おこし協力隊の受け入れ体制が十分ではなく、定住率が低いこと」とあるが、どういった基準で協力隊員を募集・採用しているのか。採用する際に定住する意向の有無は確認していないのか。そもそも定住するための基盤が整備されていないのではないのか。

⇒地域おこし協力隊は平成 28 年度から活用しているが、残念ながらこれまで定住に至った人はいない。採用する際に定住の意向の有無を確認したこともあったが、結果は先述のとおり。現在は、公営塾や桃の木オーナー制度などで町の活性化を進めていただいている。町としては定住に向けたバックアップの体制を整備していきたい。
- ・**委員**：22 頁に「阿津賀志山の山頂付近の利活用について」記載があるが、中腹は雑木林になっている。昔は中腹からもきれいな景色を眺めることができた。山全体が町のシンボルだと思うので、中腹にも展望台等の整備を検討いただきたい。

⇒山頂だけを綺麗にしても、そこに向かう途中がしっかりと維持管理されていなければ、山としての印象は悪くなってしまう。山全体をどう観光と結び付けていくか、そういった場で十分協議していきたい。
- ・**委員**：学校給食で、町産 100%のものはあるか。あれば品目も教えてほしい。

⇒今のところ町産 100%はないが、食育としてなるべく町産・県産のものを使用するようにしている。また、給食費を無償化した際に、給食の食材そのものを教材として考えるようにした。それに伴い、道の駅出荷組合の協力もあり、以前に比べ倍ぐらい町産の野菜を給食に使用できるようになった。今後もそのような体制で進めていきたい。

③ 第6次国見町総合計画の一部変更について

【質問・意見】なし

④ その他

【質問・意見】

- **委員**：0歳から中学校卒業まで一貫して教育を受けることができる。これは大変重要なことである。小学校や中学校に入学する際のギャップはなくなるかもしれないが、逆に言えば、どこかの段階でつまづいてしまった場合、それが中学校卒業まで続くことになる。そういった場合の支援の検討もお願いしたい。
⇒支援が必要な場合に備えて、支援員を配置している。また、登校が難しい子どもたちのために文化センター内に「ステップ」という学校以外の居場所を試験的に整備した。今後、条例化してしっかり対応していきたい。
- **委員**：今月の広報紙で、デロイトトーマツの2名の方がくみ学園構想策定に携わるという記事を拝見したが、デロイトトーマツは監査法人のイメージがあるが、こういった面で携わっていくのか。
⇒地域活性化起業人という総務省の制度を活用している。町だけでは解決できない課題を民間の力を利活用し、地域の活性化につなげていくということになる。
⇒基本構想の中で、デロイトトーマツには教育ブランディングやワークショップの運営補助、資料作成をお願いしている。
- **委員**：現在、高齢者の活動する場所を探している。和室の部屋一つで十分なのだが、既存の公共施設等で使用できるものはないか。例えば、駅前のデイサービス・保育所など。
⇒公共施設等総合管理計画の中で、施設毎にこういった利用の仕方がよいのか、地域の皆さんの意見なども伺いながら検討していきたい。例として話があった駅前のデイサービス・保育所については、現時点では一般に貸し出すことはできない。

※岩崎会長より町長に答申書を手交

4. 閉 会